

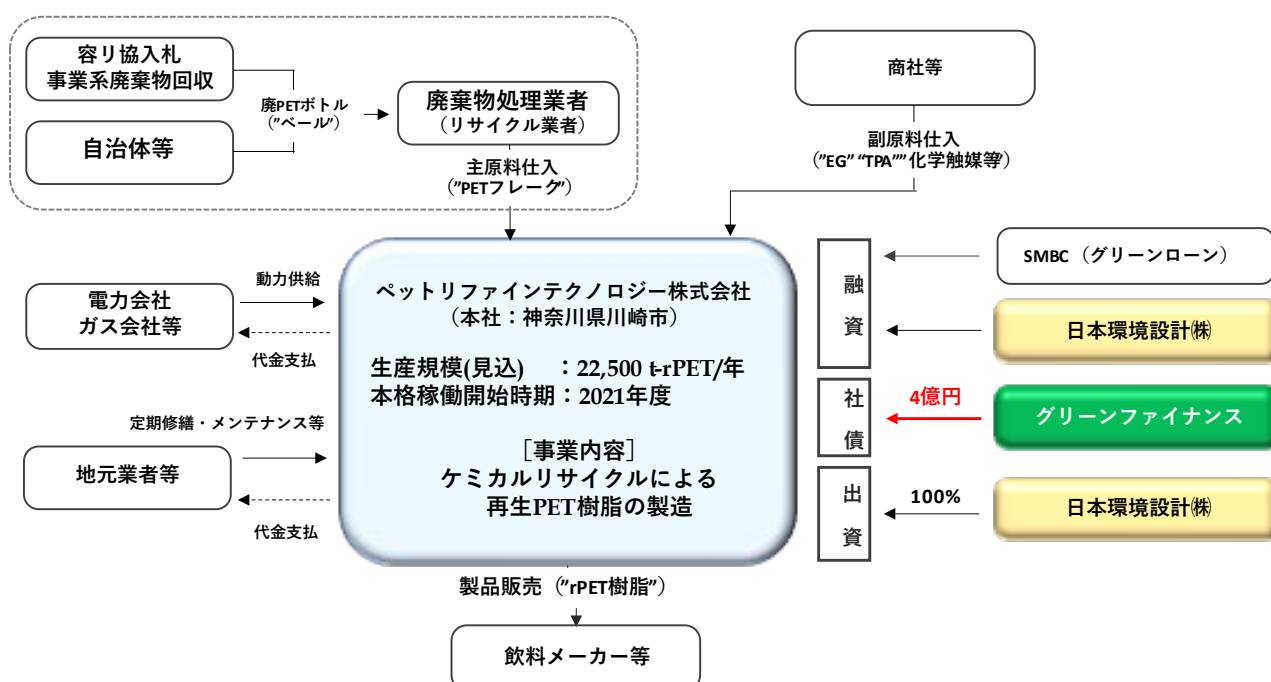
神奈川県川崎市再生 PET 樹脂製造工場再稼働事業への資金拠出決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎 以下、「機構」という。）は、日本環境設計株式会社（本社：神奈川県川崎市 代表取締役：高尾正樹）の子会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（以下、「PRT 社」という。）（本社：神奈川県川崎市 代表取締役：伊賀大悟）が進める、再生 PET 樹脂製造工場再稼働事業（以下、「本プロジェクト」という。）に資金拠出することを決定し、PRT 社が発行する劣後社債（総額 4 億円）の引受を実施致しましたのでお知らせします。

本プロジェクトは、PRT 社が川崎市に保有する工場において、独自のケミカルリサイクル技術により、使用済み PET ボトルを原料とした安心して安全な再生 PET 樹脂を製造する事業であり、本工場で製造される再生 PET 樹脂は年間約 22,500t を見込んでおります。

本プロジェクトでは、地元自治体が回収する使用済 PET ボトルを原材料の一部として使用する計画であるなど、地域資源循環への貢献が見込まれるほか、将来的には本技術の国内外への横断的展開により、使用済 PET ボトルの有効活用や海洋プラスチックごみ問題への解決手段のひとつとして期待される、社会的意義が高くモデル性のあるプロジェクトであるとして、機構は資金拠出を決定いたしました。

1. スキーム概要



2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本プロジェクトへの資金拠出を決定いたしました。

- ① 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は既存の石油由来 PET 樹脂製造に比べて 16,164t-CO2/年を想定しています）。
- ② PRT 社独自のケミカルリサイクル技術は、マテリアルリサイクルでは困難な異種プラスチックから構成される原料、汚れ、異物混入等に対応でき、且つそれらの原料から何度でも高品質な樹脂の製造を可能にします。この技術は今後、サーキュラーエコノミー及びプラスチック資源循環への貢献、廃プラリサイクル技術の横断的展開等、世界の環境問題対策に貢献し得るモデル性のあるプロジェクトであると評価したこと。
- ③ 本プロジェクトに伴い、新たな雇用の創出が期待されることに加え、地元企業へのメンテナンス発注、地元自治体が回収する使用済 PET ボトルの有効活用、循環型リサイクルを学ぶ機会の提供等、地域への貢献も認められること。

以上

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
